



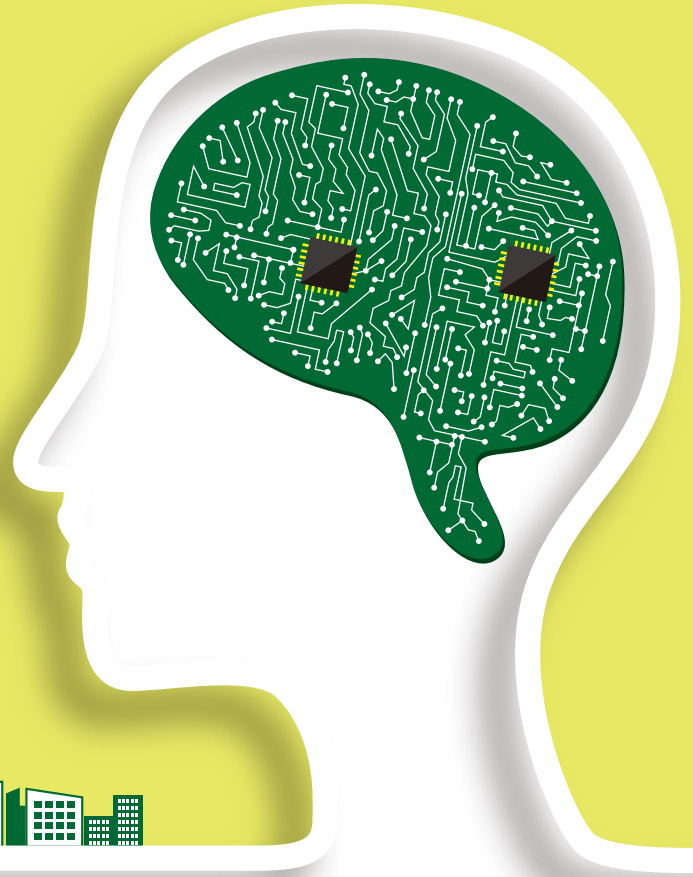
東京で学ぶ 京大の知 シリーズ23

# 人工知能と人間社会

WEBサイトのおすすめ機能、世界トップクラスの棋士を圧倒するコンピュータ碁、自動運転技術、人型ロボットなど、「人工知能」は身近なものとしてますます存在感を増し、その能力はさらに飛躍すると言われています。一方で、新たなテクノロジーが雇用を奪うのではないかといった声も聞かれます。これまでの歴史を振り返れば、技術の進化が暮らしや社会を変えることは必然でもあります。そこで今シリーズでは、注目される人工知能の最新テクノロジーと人間社会の今、そしてこれからについて、考えてみたいと思います。

主催 京都大学 講演時間 各回 18時30分~20時

参加費無料



第1回  
10月25日(火)  
西田 豊明  
情報学研究所 教授

人工知能さん、あなたは一体誰？

人工知能という言葉がすっかり身近になりました。いろいろな仕事を知的にこなし、日常生活をより楽しくしてくれそうな一方で、自分の仕事もお株も奪われてしまいうような不安を感じる人工知能。その正体を探り、付き合い方について考えます。

第2回  
11月1日(火)  
河原 達也  
情報学研究所 教授

話がわかるコンピュータ  
—音声認識と会話ロボットの最前線—

音声で検索を行えるスマートフォンアプリや、会話を行うロボットなどが身近なものになっています。一方で、人間並みの音声認識や会話能力の実現には依然大きな課題があります。本講演では自律型アンドロイドERICAを通じたこのチャレンジについて紹介します。

第3回  
11月8日(火)  
田中 克己  
情報学研究所 教授

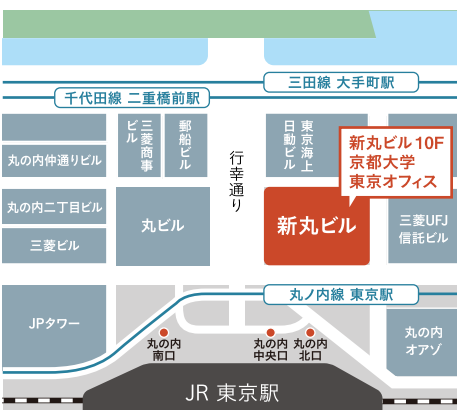
ビッグデータと「人工知能」  
—社会へのインパクト—

社会に存在するビッグデータを「学習」させて「人工知能」を実現する試みがいろいろな分野で始まっています。その現状、効用や問題点、是非などとともに、ビッグデータを用いた技術の社会に対するインパクトや社会の仕組みを変える可能性についても考えます。

第4回  
11月15日(火)  
林 晋  
文学研究所 教授

AIブームは本物か？  
—米国の場合、日本の場合—

米国の人工知能(AI)産業は、米国を、世界を、どう変えようとしているか。米国での最新の現地調査をもとに説明します。その上で、AIと雇用、日本のAIブームの問題点などについてお話しします。



■ 開催場所・問い合わせ先

京都大学 東京オフィス 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

TEL: 03-5252-7070 FAX: 03-5252-7075 E-mail: t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL: http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office

申し込み方法 [ お申し込みはWEBまたはFAXで ]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込みください。各回定員80名、締め切りは10月14日(金)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、申し込み多数の場合は、抽選となります。詳しくはホームページをご覧ください。



！ スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から上記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。